

島前合宿を終えて

「島前合宿」それはこの夏、私に貴重な経験をもたらしました。その経験、また反省についてここでご報告致します。

合宿初日から振り返ってみますと、初日は本当に散々な1日でした。まず人生初の夜行バス。13時間の拘束は地獄と言えるでしょう。そして島へ渡る為の約2時間のフェリーは船酔いと戦いでした。やっと西ノ町に到着するころには疲労困憊。正直東京に戻りたくて仕方ありませんでした。そんな中参加した「キンニャモニャ祭り」1時間通しての踊りは非常に疲れるものですが、その後の花火でその日1日の疲れが吹っ飛びました。地元ではまずあり得ない距離感で見ることのできたあの花火は忘れないでしょう。そんな感じで始まった合宿も2日目以降は楽しくて仕方なかったです。



2日目のメインは島前高校ヒトツナギ部の高校生との交流会。私自身現在ゼミの活動で高校生と関わる機会が何度かありましたのでこれといった不安要素無く楽しく高校生と交流することができました。驚かされたのは、まだ高校生なのにしっかりとした考えを持っている事。私の高校生時代みたいにと毎日を送っているのとは真

逆で本当にしっかりした子達だなと感じました。ヒトツナギ本番では準備不足、連絡不足等で地域の人やサポートしてくれた先生方に迷惑をかけてしまったみたいですが、それについて私の班の子は多少言い訳するも本質は真摯に受け止め次に生かそうとしていたと感じられました。私も中学生の時に島前高校の島留学について知っていればと少し後悔しました。ただヒトツナギに関して大学生の知識不足により話し合いの組み立てがやや雑談メインになってしまった部分は反省致します。事前準備の重要性を一番学べたのが2日目でした。



そんな感じで2日目も終わりましたが、この時にはもう初日に感じていた東京に帰りたなんて気持ちは無くなっており島の魅力に引き付けられていたと今では思います。

3日目、まずここで1つ大きな事件が起きました。そうです台風直撃の影響で合宿が1泊伸びるという事件です。帰りの夜行バスの予約キャンセルやバイト先への連絡等で各自追われるなか、この日は島観光。天気予報も見事に外れ晴れ。意気揚々と西ノ町観光へと繰り出しました。まずは海。本当に綺麗でした。8月初めにゼミ合宿で千葉県勝浦市に行った時も海に入りましたが、そことは比べられないほど綺麗な海に

感動しました。ただただ後悔しているのが
ゴーグルを持っていかなかった事。合宿前
日に準備していた自分自身を殴りたい。海
の後のはのんびり歩いて一旦宿へ。宿への道
中、島唯一の信号機も見つける事が出来た
り、すれ違う人は挨拶してくれ人の温かみ
をひしひしと感じました。都内に籠ってい
るだけではまず感じる事のできないもの
だと思います。



そして宿で一息した後、まずは由良姫神社
へお参りに。そこで私たちはとある看板と
出会いました。そこには「ハイキングコース、
摩天崖まで約6キロ」。これを見た私たち
軽い気持ちで摩天崖を目指すことに…。
途中放牧されている牛を見かけたりしまし
た。しかし、歩けど歩けど目的地に着かな
い現状にだんだん不安が募りだしました一
行の横を、一台の車が通り過ぎ、これから
私たちが登るであろう坂を駆け上って行く
のを見て摩天崖へ行くのは時間的にも厳し
いと判断。有名な観光地だったので一目見
たい気持ちもありましたが、行きかけの坂
から見た景色も素晴らしかったので満足で
す。
長い道のりの中で結果ではなくそこを目指
す過程が重要なんだと感じました。



その後、山を下り、近藤さん家にお邪魔し
海鮮 BBQ。これまた人生初となる、アワビ
とカキをいただきました。島に来てからと
いうもの初めて経験ばかり。楽しい島観光
でした。

4日目は、台風直撃により宿で待機。本
来なら4日目に行くはずであった中学生と
のワークショップの予行や学習センターで
他大学の人とのディスカッションの内容を
確認したりで準備の1日。

5日目最終日、午前中は中学生との交流
会。中学生にとってプラスになれたのかは
わからない。ただ難しいワークショップだ
ったにも関わらず積極的に参加してくれ本
当に助かった。中学生の弟を持つ身とし
ては、自分の弟もあれくらい真面目なら良
いのに感じてしょうがないです。午後は船
が欠航の為 Skype を使った他大学生との
交流。やはり本音を言えば直接話してみた
かった。ワークの内容も、午前中で疲れて
かあまり頭も働かず深く考えていない部分
もありもったいないことをしたと反省。地
域に学生という身分そして、短い時間で関
わりとした時できることは本当に小さく
てすぐに消えてしまうものなのだろう。そ
の小さい部分が消えないように積み重ねて

いくことが重要なんだろうと感じました。



そんなこんなで全日程を終えました。ここでなぜ私が今回この島前合宿に参加したのかについて書きます。大きな目的としては2つ。1つ目はゼミで関わっている活動に今回の合宿で学べる事を生かせるのではないかと考えたら。

2つ目は、縦と横の繋がりを作りたいと考えていたからです。特に2つ目はサークルに所属していない身なので普段大学に通うだけでは交友関係が限定的になってしまうと感じたことから今回参加しようと思った一番大きな理由です。結果としてはそのどちらの目的も達成できたと思っています。あとは今回の経験をどれだけ自分に還元しアウトプットできるか。やってやろうと思えます。

最後に全体の振り返りを。まず本当に楽しい5泊6日でした。何よりも合宿参加メンバーに恵まれていました。近藤さんをはじめ運営の2年、貴重な夏休みの時間を使って参加してくれた1年生。ここまで楽しいと感じられたのは間違いなく皆さんのおかげです。

事前学習で感じた印象と、衣食住を共にし

た後では皆の印象ががらりと変わりました。もちろん良い意味で。人はやはり見かけで判断するのが一番もったいないことなんだと感じました。

個人的には最も参加者の性格が出たのは、夕食作りの料理の時間だと思っています。積極的に参加する人、仕事を見つけようとする人、うまく仕事してますよってという雰囲気を作る人、料理は我関せずの人。見ていて本当に楽しかった。

人だけでなく景色も本当に素晴らしかった。綺麗な海、満天の星空…東京にいたら絶対に見ることのできない光景が広がっていました。

私自身の大きな反省点としましては、自分自身楽しむ側で終わってしまったこと。途中台風の影響でリーダーと運営1人が先に帰った後、もう少し2年として全体を見るべきだったと感じました。しっかりした人に甘えて自分は特に何もしようと思わない非常にせこい考え方を改める必要があるなど再認識できた合宿でもありました。

「島前合宿」で、島そしてそこに住む人の魅力を知り、良き後輩達と知り合え、頼りになる同期の存在を再認識し、尊敬できる先輩・大人と知り合え、自分の弱点とも向き合えた。非常に濃い4泊5日改め5泊6日でありました。今回のこの経験を今後残りの学生生活そしてその先の人生で生かしていけるよう励んでまいります。

以上で「島前合宿」の報告とさせていただきます。途中からただの感想文みたいになってしまったことどうかお許してください。